

中小企業研究交流センター 景気動向研究会
「異次元緩和」解除から1年、金融政策の今後の行方
～トランプ関税の重圧 日本経済は浮上できるのか?～
＜令和7年度東大阪市補助金事業＞



2次元コードでお申込み

2024年3月、日銀はマイナス金利政策を解除し、金融政策の正常化へ舵を切りました。しかし解除からはや1年、日本の景気回復の足取りは依然として鈍く、特に実質賃金の低迷が個人消費の重石となっています。またトランプ米大統領の関税政策も喫緊の課題として浮上してきました。本講演会では、日本銀行で約20年間金融や産業調査に携わった金融政策の専門家より、今後の金融政策の行方についてお話しいただきます。

- 日 時 2025年6月19日（木） 14時～15時
■会 場 東大阪商工会議所 本所本館 4階大会議室1
■定 員 30名（定員になり次第締め切ります）
■講 師 近畿大学 経済学部 総合経済政策学科
教授 安孫子 勇一 氏

略 歴

東京大学経済学部を卒業後、1982年に日本銀行へ入行。
その後、郵政省郵政研究所の主任研究員、大阪大学大学院経済学研究課講師を経て、2004年より近畿大学経済学部教授。現在に至る。



■参加費 無 料

■問合せ 東大阪商工会議所 企画調査部 TEL：06-6722-1151